

生徒会新聞

発行者
第二亀戸中学校
生徒会本部



運動会を最高のものにするために

運動会の立役者にインタビュー！

今回の生徒会新聞では、第72回運動会を中心となつて活躍してくれた実行委員長にインタビューを行った。ぜひ、運動会当日を思い出しながらか読んでほしい。

当時を振り返って

今回インタビューに答えてくれたのは、3年A組の木村大聖（きむらたいせい）さん。木村さんは第72回運動会実行委員長として、運動会を盛り上げてくれたことも記憶に新しい。当時のことを思い出しながら、質問に答えてくれた。

大変だったこと

まず最初に、実行委員で大変だったことを聞いた。「去年と体育科の先生が変わり、運動会への準備の仕方も変わった中で、実行委員長が全体に指示を出したり、全体の前で話したりすることも多かったところが大変でした。」

しかし、運動会実行委員は大変なことだけではなかったという。「実行委員の指示を聞いてくれたり、みんなが優勝に向けて一生懸命に練習しているところを見れたところはいいところだったなと思いました。」

良かったこと

運動会の良かったところは、どのクラスも最後まで諦めないで優勝に向かって、全力で全種目に取り組んでいたところ。全員が点数にかかわらない応援や素



運動会後の達成感

運動会後に達成感などはあったか。また、行事を終えての率直な気持ちは「達成感しかなかったです。早い移動までしっかりとできていたところです。」



皆が指示を聞いてくれたり、クラスが一丸となって練習や本番をやり切ったときにやりがいを感じました。実行委員長として、仕事が多かったけれど、しっかりと仕事をこなせたところが良かった。終わってとてもほっとしました。「今年も最高の運動会にしてくれたのは、やはり、運動会実行委員長の木村さんを始め、実行委員会の方々の頑張りが大きい。今年度は、今まで以上に実行委員が中心となり各クラスをまとめ、盛り上げてくれた運動会となった。改めて感謝の気持ちを伝えたい。最後に、木村さんが実行委員長をやっていたよかったと思ったことを語ってくれた。」

美化ボランティア活動報告

「三年生が一番しっかりとやってくれていて、最後まであきらめない姿は後輩のお手本になりました。この運動会を通じて、クラスの絆が深まり、実行委員でしか味わえないものが感じられました。自分のクラスは優勝することはできませんでしたが、いい運動会になりました。」

「練習から本番までしっかりと全校生徒をまとめてくれた木村さん。運動会に向けた大きな思いは今もなお消えず、私たちの心に感動の火をともし続けてくれる。私たちもそれに負けず、この新聞で皆さんの心を動かしていききたい。」

先日生徒会主催の美化ボランティアを3年生を対象にスポGOMI形式で行った。一度は延期になり、当日も朝から雨が降っていたが、昼には雨が上がったため開催に踏み切った。40分という短い時間の中で各自決めた場所まで行き、ゴミを拾い、学校へ帰ってくるのだが、三年生にもなる道中も道の隅まで目を光らせ「ここにある！」など仲間内で声を掛け美化活動に全力で取り組んでいる様子が見られた。出発から40分という短い時間の中でも各グループの袋はいっぱいになっていた。集計が終わると結果発表となる。A、Fの6つのグループの中で一位に輝いたのはEグループで、ポイント110ポイントだった。Eグループは川の近くで拾っていたようだ。参加する際の参考にしてみるといいかもしれない。